

令和3年10月25日

令和3年

第10回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

令和3年10月25日（月曜日）午後2時から

1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史	教育長
三 留 利 夫 委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子 委 員	
高 橋 幸 子 委 員	
深 澤 佳 己 委 員	
北 内 英 章 委 員	

2 出席職員（13名）

教育総務部長	市 野 由香里
参事（教育施設担当）	森 岡 剛
教育総務課長	政 木 純 也
教育施設担当課長	田 中 佑 典
副参事（教育地域力担当）	丹 野 詩 織
副参事（施設調整担当）	荒 井 昭 二
学務課長	柳 沢 憲 一
指導課長（幼児教育センター所長兼務）	岩 崎 政 弘
指導企画担当課長	早 川 隆 之
学校支援担当課長	根 本 勝 司
副参事（法務担当）	平 栗 敬 子
教育センター所長	中 村 純 子
大田図書館長	長 岡 誠

3 日程

日程第1 教育長の報告事項

~~~~~

(午後2時00分開会)

○教育長

それでは、ただいまから、令和3年第10回大田区教育委員会定例会を開会いたします。  
本日は傍聴希望者がおります。

委員の皆様には傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

○教育長

それでは、大田区教育委員会傍聴規則第7条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、または拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をよろしくお願いいたします。

本日の出席委員数は定足数を満たしていますので、会議は成立しております。

まず、会議録署名委員に高橋委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

続いて、本日の日程第1について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第1は「教育長の報告事項」でございます。

○教育長

それでは私のほうから、本日は道塚小学校・梅田小学校の研究発表会、それからICTの活用状況に関する小学校への学校訪問について報告をさせていただきます。

まず、道塚小学校ですけれども、10月15日に研究推進校の発表をいたしました。

昨年はコロナ禍で授業公開という形での発表は難しい学校もありましたが、今年は道塚小学校がまず一番に授業公開された研究発表をいたしました。

道塚小学校は、研究テーマが「新たな『知』を創造する児童の育成を目指して」、副主題は「～未来ものづくり科のためのカリキュラム開発～」です。今の社会状況の中で新たな知を創造するとは、今までの知識や技能を習得するに終わらず、新たな考えを創造しながら未来を切り開いていくというような目的をもって研究が進んでいます。

5、6年生で、今後大田区で新設したい未来ものづくり科のためのカリキュラム開発について学校全体を挙げて取り組んでいただきました。

未来ものづくり科を学ぶことにより、地域の一員として地域の宝から新たな知恵を作り、地域社会に必要な新たな知を発信することが可能になることや、社会につながる学校になるということで、この未来ものづくり科を通した学校づくりというのが明確になっております。

道塚小学校は、もともと地域とのつながりが非常に強く、栽培活動等かなり地域の方にご協力いただいております。また、コミュニティ・スクールの実践校ということで、来年度からコミュニティ・スクールを進めていくための研究実践をしていただいているところです。

そのため、今、すべての授業はものづくりに関わって、科学、環境に関係するものづくり、地域伝統のものづくり、それからものづくりを通して社会を明るくしていこうという幸せものづくり、そういう幾つかの柱に準じて、1年生から6年生の全教科の中でもものづくりに関わる活動をしていただきました。

印象に残ったことは、地域の33事業所の方に協力いただきながら、工場を見せていただいたり、地域の人に来て何か紹介をしたり、非常に多くの地元企業の方と連携してものづくりを進めていたと思います。

後、体育館で段ボールを組み重ねて家のようなものを作るダンボール・ラボです。避難所になるのかわからないですけれども、組み立てていました。これは工学院との連携の中で、工学院の学生もいらしていました。そういうサポートしてくれる学生、それから資材は工学院から貸していただいて、組み合わせていますが、やはり造形的というのですか、こじんまりしたものもあれば、お城のようなものもあって子供たちが非常に意欲的に取り組んでいる姿がありました。

やはりものづくりは、みんなのためとか、社会のためとかそういう目的のもと、友達と力を合わせて試しながらものを作っていくという活動ですが、それがよく出ていたと思っています。

学校を挙げて、ものづくり教育、そこのエッセンスをまた1つのカリキュラムにして、大田区の全施設、小学校に広げていけるかなと思いました。

2校目は梅田小学校の研究発表です。10月22日にございました。

研究テーマが「Society5.0に向けた梅田小の教育～プログラミング教育における授業デザイン～」ということで、これもすべて授業公開された研究発表をいたしました。

プログラミング教育は新たに入ってきた教育の一つ、新しい学習指導要領の中で入ってきたものですが、プログラムを組み立て、順序立てて段取りを作っていくというプログラミング思考力を育てることをすべての学級の中で行っていました。

その使用しているソフトとか機器も非常に多彩で、MESH、アーテックロボ、Codey rocky、Scratch、Viscuit、キーボー島アドベンチャー、また、ドローンを動かすというようなプログラムをやっていくこともあって、非常に多彩で、やはりそういう機器を使っていくことは、私が教育現場にいたときと比べ、また新たなものがずいぶん出てきているなというふうに思いました。

子供たちは、その中でもとても楽しそうに取り組んでいて、一人1台のタブレットも使いこなしながらやっているような様子もありますし、ICT教育も活用しながらやっています。

梅田小学校は、梅田ICTタイムという特設の時間を使って、ローマ字入力のタイピング等プログラミング教育を行う上で必要な技能を習得しておりました。

学校全体が非常に意欲的に新たな教育に取り組んでいるというような様子がありまして、校長先生も非常に元気に指導していただいていたと思います。

2つの研究校、未来ものづくり科、それからプログラミング教育、新たな教育課題について一生懸命取り組んでいただいております。それを今度は教育委員会として、全国に広げていくということを考えてございます。

次に、ICTの活用については、2学期の小学校を少し見せていただいております。今のところ6校、私と指導企画担当課長、それからICT教育推進専門員と一緒に回らせていただいております。

日常的にタブレットを使って授業をしている様子がよく見られる学校が多かったです。まだ活用にやや戸惑いがある学校もありますので、その格差を縮めていくことが大事かと思えます。ICT教育推進専門員は、非常に良いアドバイスをして、また学校に行って、研修会で講師をしたり、着実にICTの活用が広がっていく、それを授業で活かして、今子供たちに求められている個別最適化された授業を進めていく、そういうような様子が見られました。

今後も各学校に応じて支援していくことが必要かなと思いましたが、しっかりと各学校の状況を把握していきたいと思っています。

報告は以上でございます。

何かご質問、またはご意見がありましたらお願いいたします。

#### ○三留委員

今、教育長から道塚小学校と梅田小学校の研究発表の報告がありました。内容については詳しくお話しいただいたので、私からは教育的な意義について感じたことをお話しさせていただきます。

私も久しぶりに参加させていただきましたが、やはり参観型の研究発表会の良さを感じました。どちらも大規模校ですけれども、全クラス授業公開ということで、チーム学校として、主体的に取り組んでいるという印象を受けました。

両校とも課題解決型の授業をきちっとしており、子供が見通しをもって意欲的に学習に取り組む姿が素晴らしいと思いました。

私の信条に、「優れた校内研究は、教師を育てる」があるのですが、確かに先生たちが力をつけていると感じたところです。

今回の学習指導要領の総則において、教科の学習とは別に必要な資質・能力を育てるために現代的諸課題に関する教科横断的な教育の重要性が指摘されております。中央教育審議会答申にも同様の記述がありまして、現代的諸課題を取り入れた教育課程の編成がこれからの学校においては大きな課題になります。私は、現代的な諸課題の研究に取り組むこと自体が、学校の特色を出すことだと思っています。

道塚小学校はものづくり学習、梅田小学校はプログラミング教育を中心としたICT教育という横断的課題をテーマにした研究でしたが、この2つは、おた教育ビジョンのプラン1「未来社会を創造的に生きる子どもの育成」に位置づけられている中心的な施策につながる研究だと思います。そういう意味で、研究成果を区内に還元していく役割がある研究になると思っています。

両校の研究に共通していえることは、カリキュラムマネジメントがしっかりしていることです。両校のマネジメントの良さを4点あげます。

1点目は、児童や学校、地域の実態、区の教育課題を適切に把握して教育活動に取り組んでいること、2点目は、組織的・計画的に教育課程の編成に取り組んでいること、3点目は、教育課程の実施状況を評価して改善に取り組んでいること、4点目は、教育課程の実施に必要な人的または物的体制を確保していること。

こうした基底となることをきちっとおさえた上で、各教科そのものの学習を成立させつつ横断的な課題のねらいも達成できるようなカリキュラム開発を進めていくことが素晴らしいと思いました。カリキュラムマネジメントを行う上で、この4点は、押さえてもらいたいと思っています。

道塚小学校で良かったなと思うことは、地域とつながりを持っている工場がたくさんあり、そういう実態を活かした教材開発もしていますが、幅広くものづくりの概念をとらえて教材開発もしているということです。これは、多くの学校で参考になると思いました。

それから、梅田小学校の研究は、小学校学習指導要領総則にある、いわゆるプログラミング教育の内容に真正面から取り組んだ研究で、是非、参考にして取り組んでいただきたいと思っています。

#### ○高橋委員

研究発表会、2校に行ってみりました。

初めに、道塚小学校では、新教科である未来ものづくり科の研究で試行錯誤しながら制作する姿、それから商店街、工場などを取材し、知ることによって愛着を持つなど、ものづくり学習を通して人の役に立ちたいとの思いを感じました。新教科の研究でしたが、子供たちは楽しそうに取り組んでいました。地域にある工場を取材してすごさを伝える授業など、ものづくりのまち、大田区を知るきっかけになると思います。

次に梅田小学校ですが、プログラミング教育の研究で27学級、さまざまな授業デザインの公開がありました。プログラミング教育には情報のモラルの向上が基礎になると考え、1年生から6年生の情報モラルの授業を選んで参観しました。

タブレット端末の使い過ぎ、自分と相手との違い、調べ学習でのチェックや確認、インターネットでのお金の使い方、活用するときには気をつけること、著作権など、充実した内容でした。使用する機器類も多くあり、基本的な操作の習得は梅田ICTタイムを使い、授業がスムーズに進められるように工夫していました。

2校とも、全学級の参観ができたことで、子供たちの様子が見られて嬉しかったです。

#### ○教育長

ありがとうございます。ほかに。

#### ○深澤委員

私は、道塚小学校の未来ものづくり科の研究発表に参加いたしました。2年間研究を重ねてきたということですが、昨年度はコロナの影響で学校が休校になったこともございまして、その後も授業を進めていくことが非常に大変な中、大田区ではものづくりに関しての概念を作るところからはじめたと聞いております。そこからはじまり、研究発表で行われたような、楽しく充実した授業にまでもっていく先生方の努力と能力の高さに、私も非

常に優れたものを感じました。

授業に関しましては、教科横断的であり、子供たちが非常にいきいきと授業に取り組んでいる姿が印象的でした。というのは、一つのものを作り上げるのに、どうやったらよりよくなるかということ自分で考え、それを友達と話し合いながら、自分で実際にやってみるといのがものづくりの特徴であるため、自分が主体的に取り組まざるを得ないような授業です。そこが子供たちにとっては自分たちの潜在的な能力を活かし、伸ばすことができる機会なのではないかと思いました。今後のものづくりに対する益々の研究と発展を期待したいと思っております。

○教育長

ありがとうございました。ほかにございますか。

○北内委員

10月23日土曜日、田園調布小学校で運動会の規模を縮小した体育発表会が開催されました。こちらに出席させていただきました。6学年あって、1学年ずつ入替制で徒競走と演技を実施するというスタイルでした。

やはり現場で見ると子供たちはすごくはじけた笑顔をしており、応援している側もどんどん吸い込まれ、いい経験をさせてもらいました。

また、約1年半振りに地域の方々と直接お会いすることができ、意見交換することができて安心しました。本当に大変な中、実施いただいた先生方に感謝しております。

後、各学年入替制で実施すると先生の数がないので、校長先生が徒競走のラインマンを務めていたのが微笑ましかったです。ありがとうございます。

○教育長

ありがとうございました。

○弘瀬委員

私も大森第五小学校の運動会に行ってきました。久しぶりに皆の笑顔を見ることができて、こちらが幸せになりました。ありがとうございました。

○教育長

ありがとうございました。ほかによろしいですか。

(「はい」との声あり)

○教育長

それでは、本日はこれもちまして、令和3年第10回教育委員会定例会を閉会といたします。どうもありがとうございました。

(午後2時22分閉会)

令和3年 第10回 教育委員会 定例会 10月25日(月) 午後2:00～

教育委員会室

<教育長の報告事項>

<部課長の報告事項>

教育総務部長

参事（教育施設担当）

教育総務課長

教育施設担当課長

副参事（教育地域力担当）

副参事（施設調整担当）

学務課長

指導課長

指導企画担当課長

学校支援担当課長

副参事（法務担当）

教育センター所長

幼児教育センター所長

大田図書館長

令和3年10月25日

令和3年第10回教育委員会定例会日程

日程第1 教育長の報告事項